

茎数過剰で栄養不足の危険！ 穂肥は確実に施用しましょう！

- ・ 葉色と草丈は目標値並みですので穂肥の施用できる稲姿です。ただし、ほ場間差が大きく、草丈や葉色が目標を超えているほ場もあります。
- ・ コシヒカリの出穂期は「平年並」と予想され、5月10日植えて8月7日頃と予想されます。

1 7月8日現在のコシヒカリの生育状況 (拠点ほ場9地点の平均、移植日の平均：5月6日)

● 茎数は多。葉色は目標値並みになっています。

区分		本年値	前年値 (前年比・差)		目標値(7月10日) (カレンダ-生育目標値比・差)	
草丈(cm)		63	65	(97%)	63	(100%)
茎数(本/m ²)		569	589	(97%)	480	(118%)
葉数(葉)		10.8	11.0	(-0.2)	11.0	(-0.2)
葉色	SPAD値	36.6	37.2	(-0.6)	36.0	(+0.6)
	葉色板	4.0	4.0	(±0.0)	3.9	(+0.1)

2 コシヒカリの管理ポイント

(1) 分施肥体系の穂肥

ア 有機入り肥料での穂肥は2回に分けて行い、1回目を「出穂期20日前」に、2回目を「出穂期13～10日前」に、窒素成分でそれぞれ1kg/10aを目安に施用しましょう。

イ 幼穂長を必ず確認し、適期に施用しましょう。

ウ 1回目の穂肥施用時期に、カラスケールで4 (SPAD値で35) を明らかに超えるようなほ場では、「1回目」の穂肥は控えめに施用しましょう。ただし、「2回目」の穂肥は必ず施用してください。

エ カメムシ類が多く発生しています(6月30日:病害虫発生予察情報・注意報発表)ので、草刈や薬剤防除を徹底してください。

(2) 全量基肥肥料(一発肥料)体系の追加施肥

出穂期10日前の葉色が著しく低下している場合(カラスケール3以下、SPAD値30以下)は、「出穂期10日前頃から5日前頃」に有機100%の肥料を15～20kg程度/10a施用しましょう。